

清原地区

I 協議体の概要

名 称	清原地区第2層協議体		
設置年月日	平成29年8月29日	開催頻度	12回/年
構成団体 (◎:事務局)			
<input type="radio"/> 自治会連合会	<input type="radio"/> まちづくり協議会	<input type="radio"/> 民生委員児童委員協議会	<input type="radio"/> 地区社会福祉協議会
<input type="radio"/> 老人クラブ連合会	<input type="radio"/> 福祉協力員連絡会	<input type="radio"/> 健康づくり推進委員会	<input type="radio"/> 第2層生活支援コーディネーター
<input type="radio"/> 市社会福祉協議会	<input type="radio"/> 地域包括支援センター	<input checked="" type="radio"/> その他 (社会福祉法人 とちぎYMCA福祉会)	
設置方式			
<input type="radio"/> 新規設置	<input type="checkbox"/> 既存会議活用 ()		<input type="checkbox"/> 地域ケア会議活用
設置要綱・会則等の有無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
設置までの経緯			
時 期	内 容		
平成29年 4月	地域づくりについてのセミナー (参加者:有志住民) → ワークショップを通じて、地域の助け合いについての理解促進を図った。		
5月	勉強会① (参加者:自治会連合会, 地区社協, 民児協, 福祉協力員連絡会, 老人クラブ等) → 地域包括ケアシステムの概要について共通理解を図った。		
6月	民児協定例会 → 地域包括ケアシステム, 第2層協議体について共通理解を図った。		
7月	勉強会② (参加者:地区社協, 民生委員, 福祉協力員, 公民館長, 有志住民, 包括, 介護事業所 (YMCA), 市社協等) → 助け合いについてのグループワークを通じて、第2層協議体の役割について理解を深めた。		
8月	自治会連合会 (単位自治会長約20名) → 協議体設置に向けた取組の経緯や今後の進め方について共通認識を図った。		
〃	第2層協議体設置		
協議体における検討内容 (協議体で取り組んできたこと, 議論してきたこと)			
地域情報の共有, 課題やニーズの把握について	<ul style="list-style-type: none"> 居場所・助け合いに関するアンケート調査の実施 住民向けアンケート報告会の開催 		
支え合い活動について (見守り活動, 居場所づくり, 生活支援ボランティア等)	<ul style="list-style-type: none"> 単位自治会の地域性を踏まえた居場所の開設 有償ボランティアの試行, 仕組みづくりについての検討 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> SNSや広報誌を活用した周知活動 		

II 取組事例

【居場所づくり】

経緯：平成30年 8月 居場所・助け合いについてアンケート実施
 令和元年 6月 協議体内に「居場所部会」、「生活支援部会」「運営部会」を設置
 話し合った内容を各自治会に持ち帰り、居場所立ち上げの準備
 (居場所候補地の検討、見学等)
 10月 「きずなカフェ いこいの杜」(第1号)開設
 令和2年 1月 「清原台3丁目 おしゃべり会」(第2号)開設
 9月 「光が丘自治会 きずなカフェ」(第3号)開設

「きずなカフェ いこいの杜」 「清原台3丁目 おしゃべり会」 「光が丘自治会 きずなカフェ」



対象：地区内の住民
 (閉じこもりがちな高齢者を想定)
 開催場所：個人宅(元料亭)
 参加料：100円
 開催状況：月1回程度
 利用状況：毎回15人程度



対象：地区内の住民
 (子供から高齢者まで)
 開催場所：公民館
 参加料：無料
 開催状況：R2.1開催
 利用状況：第1回は17名程度



対象：自治会員
 開催場所：支援者の自宅
 参加料：100円
 開催状況：月1回程度
 利用状況：日を分け、5~6人ずつ開催

効果(検討中の場合は、期待する効果)

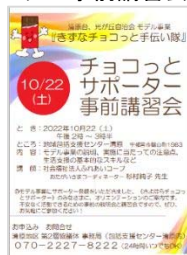
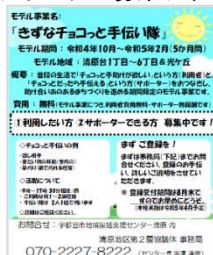
- ・ 閉じこもりがちな高齢者の外出に繋がった。
- ・ 小学生も参加し、地域住民の交流の場になった。

#

【助け合いモデル事業(チョコっと手伝い隊)を実施】

経緯：令和4年 5~7月 助け合いモデル(チョコっと手伝い隊)事業実施準備
 10月 チョコっとサポーター事前講習会実施
 モデル事業実施 ※令和5年2月まで
 12月 西地区第2層協議体における事例研究
 令和5年 3~4月 モデル事業報告会(予定)

【サポーター募集チラシ】 【サポーター事前講習会チラシ】



【利用者・サポーターフロー図】



効果(検討中の場合は、期待する効果)

- ・ 本格実施に向けた改良点や課題、工夫などのノウハウが集積された。
- ・ 他地区協議体とのネットワークが構築された。

III 協議体を設置して、良かったこと

- ・ アンケートを実施したことにより、清原地区の現状や課題について把握することができ、ニーズに応じた取組を検討することができた。
- ・ 各単位自治会に合った居場所づくりを検討し、様々な形態の居場所の開設に繋げることができた。
- ・ ボランティア実施のノウハウ等を共有することができた。

IV 今後の方向性

- ・ 「チョコっと手伝い隊」の本格実施
- ・ 「外出・移動支援」に関する勉強会・研究会の実施